

★ 自主防災組織の支援と防災士 ★

中越地区 阿部 正子（十日町市）

「訓練をしろ、訓練をしろと言われるけれど何をどうしたらいいか分からない。」以前、地域の自主防災組織の会長から言われた一言です。

現在、私たちは、自主防災組織の訓練指導を行っています。これは、十日町市の委託業務として「NPOセーフティネットぼうさい」が引き受け、今年度から始めた取り組みです。期間は、24年5月1日から25年3月31日までの約1年間。訓練内容や、事前の打ち合わせまで全て任されています。訓練器材もこちら側で用意するので自主防災組織に費用の負担はありません。訓練内容の慢性化を防ぐため、訓練メニューを作成しました。

防災講話、消火訓練、救急訓練、DIG、その他相談に応じて可能な訓練と、大きく5つに分けて提示。地域に必要な訓練を選んでもらうかたちにしました。真夏の屋外訓練では、住民のみなさんとともに汗を流して取り組みます。この先に家があるのかと思うほど、奥の集落まで赴くこともあります。市全体で統一された訓練を行うのではなく、1つ1つの集落に足を運び地域に合った訓練を支援する。地域の隅々まで入り込めるのは、地域を知った防災士ならではのしょうか。災害に強いまちづくりのために、自主防災組織の技術向上は欠かせません。地道に活動を続けていくことが必要です。



§ 新刊紹介 §

こどものための防災・防犯シリーズ「もしものときにできること」

◇ぐらぐらどーん! / 自然災害編1 [地震・津波]

◇びゅうびゅうざざー! / 自然災害編2 [風水害・雪害・土砂災害・火山噴火]

もしものときのために、自身が危険について学び身を守ることをできるよう映像を観ながら楽しんで学べるこどものための防災DVD。

お子さんやお孫さんと防災について学ぶ良い教材になると思います。またご自身の様々な経験と合わせて、家庭から防災教育を始めてみてはいかがでしょうか？



編集後記

9月に体調を崩し、その後の後始末も含めて第7号の発行が大幅に遅くなり、大変申し訳ありませんでした。11月終わりに降った初雪から県内でも本格的な積雪となり、改めて豪雪地域の防災対策や冬期に発生する大地震の備えを真剣に考えなければならない必要性を強く感じました。(か)



H24.12.1 発行

NBN

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部会報 第7号

新潟防災ネットワーク

Niigata Bousai Network

新潟県支部の動向

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部 支部長 別府 茂

新潟県中越地震から8年が経過し、東日本大震災からも1年半が経過しました。全国的に被害想定の見直しとともに防災意識の高まりが感じられるところです。県内でも防災士の育成計画が進んでおり、9月には魚沼市で防災士研修センターによる防災士養成講座が開催されました。また、自治体による養成制度も広がりつつあります。

このような中、防災士会への行政や自主防災組織からの研修や訓練などへの協力要請も増えており、十日町市、新潟市、魚沼市など地域も拡大しているところです。これらの要請にこたえるためには、会員のスキルアップも不可欠のため、昨年度の「DIGの指導者育成研修会」に続き、本年度は「避難所DIG（避難所ワークショップ）」を計画しております。また、地域からの要請に対して講師の紹介なども行っておりますので、会員の皆様には、引き続き地域での活動の推進とスキルアップにご協力をお願いいたします。

「災害は備えあれば、憂いなし」とよく言われますが、より正確に言うならば「災害は備えた分だけ憂いなし」です。想定される被害の内容や大きさに対して、どの程度備えたのか具体的に知り、その防災対策の不足を補う計画をつくり、備えを厚くすることが大切となります。このことは町内や学区などの単位で、その地域に特徴的な被害を想定し、具体的な対策を検討することから始めることになり、その進め方は地域にいる防災士だからこそアドバイスできるノウハウです。新潟県支部の活動も、その分を着実に増やしてまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部 会員募集

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部では、会員を募集しています。あなたの地域で防災士を取得されている方で、さらなるスキルUPを希望されていたり、新潟県内や全国の様々な情報を欲している方はいませんか？ 現在、県支部会員(5月末日現在)は、新潟地区17人 上越地区8人 中越地区36人 下越地区3人 佐渡地区31人 合計95人になっています。新潟県自主防災コーディネーター登録者数は4月1日現在151名ということです

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部では、防災活動に関する様々なニーズにお応えできる研修会や情報提供を行っております。入会を希望される方は、下記事務局までご連絡ください。

※NPO 法人日本防災士会・新潟県支部事務局

〒948-0003 新潟県十日町市本町6-3 TEL: 025-752-7353 FAX: 025-750-3670

NPO セーフティネットぼうさい内 担当: 尾身誠司 (E-mail: tbk119@jeans.ocn.ne.jp)

会員防災士の活動



★ DIG研修会指導補助員として参加 ★

新潟地区 古俣和博（新潟市西区）

去る6月2日、新潟市中央区で開催された自主防災組織を対象にした防災訓練に指導補助員として参加いたしました。今回は東区の研修会に次いで2回目の参加でした。3・11以降市民の皆さんの防災に対する認識が変化したのか多くの方が参加なさいました（120名）。新潟では中越及び中越沖地震と身近で被災を経験していることも有り、防災に対する意識も高くなっているのではないのでしょうか。

私も高校2年のときに新潟地震を経験、当時は新潟市中央区の高校に在籍していましたので、まさに被災者を経験、中越地震では勤務する会社の柏崎事業所で被災、中越沖地震ではまともに被災地65年の歳月で地震を3回も経験しています、そしてこのたびの東日本大震災 よくよく地震に縁のある人生です。しかし、今思い起こしますと被災者ではありましたが時々に応じて、ボランティアであったり、復旧工事に携わったり色々と活動してきました、東北においても復旧資材の供給で関係をしています。

私事はさておいて、今回の防災訓練について感じたことを述べさせていただきます。訓練は、新潟市消防局から10名の消防職員が講師として招かれ、毛布とポールを利用した簡易担架の作り方、要援護者の運搬方法、DIGと短時間ですが内容の濃い研修会でありました。参加者からのアンケートでも、地域に持ち帰り啓蒙活動を行いたい、時間が少なかったなど賛否両論の回答がありました、しかし意見が出ることは皆さんが防災に対し考えていることではないのでしょうか、今後もこのような活動があれば参加し経験したことを皆さんに伝えることが出来ればと感じています。

さて、東日本大震災について少し記述したいと思います。皆さんもご存知と思いますが「釜石の奇跡」です小学生、中学生が自分たちの判断で津波が来るから避難した、しかし大人は決められたとおり避難施設に避難、しかしそこにも津波が押し寄せたわけです。子供たちが必死になって逃げた、その動きにつれ大人も行動し一人の犠牲者も出さなかった。これが報道なんかで言われる「釜石の奇跡」です。しかしこれは奇跡でもなんでもないので、群馬大学教授の片田敏孝先生が継続してこられた「防災教育」の成果だったのです。このようなことから、日ごろから訓練、教育がいかに重要であるかが証明された好事例ではないのでしょうか。自分だけは大丈夫・・・ではなくいつどこで被災者になるかもしれないことを自覚し常日頃から備えることが重要ではないのでしょうか。





新潟県支部の活動

★東日本大震災の教訓★

中越地区 尾身 誠司（十日町市）

防災士会新潟県支部の研修視察（ボランティア活動）として11月17日・18日宮城県名取市閑上地区・東松島市奥松島に行ってきました。「NPOセーフティネットぼうさい」会員6名でボランティアツアーに参加し貴重な体験をしました。名取市閑上地区の惨状は住民の約2割1000名の死者・不明ということです。何もなくなった様を目し声も出ませんでした。中学校の屋上に避難して助かった人。1時間後に襲ってきた津波で沢山の方が犠牲になりました。避難した人が自宅に戻り被災した。公民館に避難した人たちが中学校に移動中被災した。ここまでは津波は来ないと避難誘導に従わなかった。その為消防職・団員・民生児童委員・自治会役員等が沢山犠牲になったことは教訓として生かさなければなりません。一方奥松島宮戸地区は地震と同時に避難し、私たちが訪れた月浜地区では犠牲者はありませんでした。この結果は「防災（津波）意識」のほかありません。「津波てんでんこ」「これより下に家を建てるな」先人達が伝えた「教訓」が生かされています。新潟県も津波災害にもっと積極的に取り組まなくてはなりません。地震もそれによって起こる「津波」も地球規模では自然の営みで太古から繰り返されてきました。そのたび犠牲は払われてきたでしょう。新潟県支部として「津波」についてDIGを生かし対策をしようではありませんか。私たちはささやかな自己防御しかできません。

ボランティア活動は「心と心をつなぐ愛届け隊」として今回で12回目となる活動で県内、富山県から42名の参加でした。荒れた公園・子ども広場に花を植えました。大勢の力はすごいですね。被災者と直接会う機会はありませんでしたが、民宿のおかみさんから、またボランティアガイドさんからの話で十分です。私たちは「備え」の大切さを改めて確信いたしました。今後さらに「起こる前の防災活動」に尽力して行きたいと思います。



新潟県内の積雪情報をNETで入手!!

新潟県および防災科学技術研究所では、新潟県内の積雪情報情報をインターネット上で公開しています。特に防災科学技術研究所では、通常入手しづらい山岳地域の積雪情報も見ることができます。

新潟県の積雪情報サイト：<http://www.chiiki.pref.niigata.jp/yuki/>

防災科学技術研究所降雪・積雪状況サイト：

<http://www.bosai.go.jp/seppyo/yamayuki/niigata.html>